

U♥heart



【特集】

震災を越えていま卒業のとき

震災ボランティア活動報告

学びと、地域交流と、癒しの場

植草共生の森

UEKUSA School News

教授・講師陣紹介／ゼミ紹介＆授業紹介

【連載】漢字の今昔

植草学園教育研究振興資金の実績報告／ご寄付のお礼

UEKUSA LIFE ～学生生活の紹介！～

Information ～学園人事異動～

東日本大震災から4年の月日が流れ、震災の年に植草学園大学に入学した学生も、この春に卒業しました。その中には震災で被害を受けながら困難を乗り越えて入学し、学んできた学生もいます。

未曾有の大災害は大きな不安をもたらし、誰もが「家族や大切な人のそばにいたい」と思ったことでしょう。学生たちは新しい生活への期待を抱きながらも、同時に、家族と離れることへの大きな不安を抱え、千葉へ一人であつたのではないのでしょうか。期待と不安が交錯する中で、学生たちは何を思い、どうすごしてきたのか。そして、親御さんたちはどんな思いで我が子を送り出したのでしょうか。当時は振り返るとともに、この4年間を、どんな思いですごしてきたのか語ってもらいました。



4年間の思い出を胸にみんなで記念撮影

【特集】震災を越えていま卒業のとき

平成27年2月12日 取材・撮影

夢を叶えて保育士になります

植草学園大学への入学も決まり希望に胸を膨らませていた時に、東日本大震災が起きてしまいました。一人暮らしを始めるために10日後くらいに千葉へ引っ越しすることになっていました。

茨城県にある私の家も、とても大きく揺れました。地震が起きて、すぐに外に出たのですが、家の前には田畑が波打っていました。道路も液状化でぐちゃぐちゃになり、電柱も倒れていました。

何度も襲ってくる余震で、家が壊れるかもしれないという恐怖から、両親と弟と車の中で一晩を過ごしました。

自宅にはそれほど被害はありませんでしたが、断水してしまつたため飲料水などは自衛隊が給水してくれるもので凌いでいました。お風呂の水は近所の方から井戸水を分けてもらっていました。この断水は4月末まで続きました。

そんな状況の中、私だけ千葉へ来て大学生として生活を始めたため、実家のことが心配で、入学当初は週末などによく帰郷して家の手伝いをしていました。

両親もいろいろ心配だつたでしょうし、たくさんさんの困難もあつたはずですが、大学で学ばせてくれて、私の小さい頃からの夢を叶えさせてくれました。心から感謝しています。この感謝の気持ちを、結果を出して伝えたい、という思いから4年間一所懸命に頑張ってきました。

私の小さい頃からの夢というのは保育士に



患者さんを笑顔にしたい

私は、大学入試センター試験利用入試B日程で植草学園大学を受験したので、地震が起きたのは合格発表の直後のことでした。私の住む北海道はそれほど被害もなかったのですが、東北地方の被害の大きさに驚いていました。

入学後は千葉で一人暮らしをする予定でしたが、家族で話し合った結果、東京の江東区に単身赴任していた父と一緒に住むことになりました。両親は、また大きな地震があることを心配していたのだと思います。

植草学園大学に入学したのは理学療法士になるためです。そのために、この4年間、家族に支えられて頑張ってきました。家族の期待を裏切らないためにも、自分なりにベストを尽くしてきました。

植草学園大学では多くのことを学びました。が、実習で学んだことは特に貴重で、これからは担当した患者さんと向き合い「この人のために自分は何ができるのか」と、ずっと考えていました。大変なこともありましたが、この体験を通して患者さんの気持ちに近づくこ



なることで、そのために植草学園大学に入学しました。植草学園大学を選んだのは、障害について学びたかったからです。思っていた通り、障害についてしっかり学ぶことができました。

植草学園大学で学べて良かったことはたくさんあります。少人数なので、学生一人ひとりに先生方の目がしっかり届いて親身に指導していただけたことが特に良かったと思います。本当にあたたかく見守っていただき親切に教えていただきました。

ご指導のおかげで、春から実家の近くの保育園で保育士の仕事に就くことができます。子どもたちと楽しく過ごしながら、いろいろなことを伝えていきたいと考えています。そして、保育園に子どもを預ける保護者の方々が安心して保育をしたいと思っています。



大貫 歩美

植草学園大学 発達教育学部
発達支援教育学科
茨城県立波崎川高等学校出身

とができるようになったと思います。授業だけでは分からないこともたくさん学ぶことができましたし、自分が成長することもできました。親身に実習の指導をしていただいた先生方のおかげです。

この春からは札幌の病院で理学療法士として働きます。いくつかの病院を見学に行った中で、すべてのスタッフと患者さんが、一番いきいきとしているように感じられたので迷わずに決めました。脳卒中と心臓のリハビリテーションを行う病院です。脳卒中で病院に運ばれて来る方は、意識や全身状態が低下している場合が多く、安静状態が長く続くことと筋肉や関節などが萎縮してしまうことがあるので、そうならないように治療します。患者さんの記憶には残らないかもしれませんが、とても重要な治療です。大変な仕事ですが、だからこそ、ここで頑張りたいと思います。

将来は、患者さんの気持ちを理解し、明るくしてあげられる理学療法士になりたいです。症状が重い患者さんには不安を抱え、精神的にも不安定な方が多いと思います。そういった患者さんに理学療法士として身体的にアプローチするのは当然なことですが、精神的な面でもアプローチできるようなり、自分が接することで患者さんを笑顔にできる理学療法士をめざしています。



服部 円香

植草学園大学 保健医療学部
理学療法学科
北海道札幌啓成高等学校出身

希望の実現が親への恩返し

地震が起きた時、私は別の大学を受験するために秋田県にいました。試験の前日に自宅のある福島県から電車に乗り、秋田駅に着いた時に大きな揺れに襲われました。その直後から自宅と電話は繋がらなくなり、メールも翌日まで繋がらなかつたように思います。

秋田もかなり揺れましたが、被害はそれほどでもなかったのか、翌日の入試は実施されました。ただその後、福島へ帰る交通が完全になつてしまいました。はじめはホテルに泊まっていたのですが、その後、避難所になっている市民ホールへ移り、支給された毛布にくるまって過ごしました。

福島の方が被害が大きいと聞いて心配で、避難所では地震関係のニュースをずっとラジオで聞いていました。一週間くらい避難所について、その後は山形の伯父の家へ行き、さらに一週間くらい過ごしました。

その後、ようやく自宅に戻ると、まずマスクをするように言われました。原発事故があつたからとのことでした。自宅は半壊して



断水していましたが、なんとか住める状態でした。近くの体育館が避難所になつていたので、避難所でいっばいだつたので、家の一番安全そうな所に家族全員が集まって生活していました。

そんな状態だつたので、植草学園大学への入学や引っ越しの準備もなかなかできませんでした。3月31日に新入生ガイダンスがあつたため、それに間に合うように、前日によつとアパートを探しに来ることができました。

大変なことはたくさんありましたが、特に学費を含めお金の面で、両親には大変な負担をかけてしまったと思います。震災で仕事ができず収入がない状態でした。しかし、両親は何も言わずに必要な家具などを揃えて送り出してくれました。本当に感謝しています。私は、教員をめざして入学しましたが、その希望を実現することが両親への一番の恩返しだと思つてこの4年間頑張ってきました。

植草学園大学では素晴らしい先生方に出会えました。親身になって相談に乗っていただき、応援していただいたおかげで教員採用試験に合格できました。

4月から東京都の特別支援学校の小学部に採用が決まっています。子どもたちがしっかり成長して卒業し、次の中学部へ繋がる指導ができるように頑張りたいと思います。



新妻 さとみ

植草学園大学 発達教育学部
発達支援教育学科
福島県立湯本高等学校出身

植草学園の震災への取り組み

東日本大震災の勃発後、学生や教職員から「震災支援に貢献したい」という声があがり、植草学園では学園をあげてボランティア活動に積極的に取り組んできました。被災地における瓦礫撤去や清掃をはじめ、ボランティアサークルが主体になって行った知的障害児・者の方々の避難施設での支援などです。

被災された方々に役立つ活動を行うことを第一に考えるとともに、災害や緊急時に主体的に活動できる人材の育成にもつながるよう努めています。

ここでは、震災ボランティアの活動報告と、ボランティアに参加してきた学生の感想を掲載します。

震災ボランティア活動報告

期 間	場 所	参加者数	活 動 内 容
1 平成23年8月2日～5日	宮城県南三陸町	学 生 40名 教職員 6名	公立志津川病院にて2日間、瓦礫の撤去
2 平成23年11月13日	鴨川青年の家 (千葉県)	学 生 33名 卒業生 4名 教職員 3名	福島第一原発の警戒区域から避難されている知的障害児・者の方々に、義援物資・古着を届け、運動会の企画運営
3 平成24年7月13日～15日	岩手県大槌町・ 陸前高田市	学 生 10名 教職員 3名	NPO法人「印旛沼探検隊」主催の「若手県大槌町・陸前高田復興ツーリズム」に参加 被災地の見学と大槌湾防波堤付近の清掃および 仮設住宅で暮らす子どもとの交流
4 平成24年8月29日～31日	相馬ユートピア (福島県相馬市)	学 生 44名 教職員 5名	②で避難生活をされていた方々が、福島県に戻り避難を続けていた。そこで、再び義援物資・古着等を届け、ボランティア活動やレクリエーション活動
5 平成25年8月28日～30日	東洋学園 (福島県いわき市)	学 生 44名 教職員 5名	避難されている知的障害児・者施設の方々と交流および施設内外の清掃等
6 平成26年8月24日～26日	宮城県仙台市・ 石巻市	学 生 50名 教職員 4名	被災地視察と仮設住宅住民との懇談および清掃ボランティア活動
7 平成26年8月27日～29日	福島県田村市	学 生 43名 卒業生 2名 教職員 2名	田村市内の3施設の知的障害児・者の方々約200人とミニ運動会を開催



●授業料等の減免措置

植草学園大学・短大では、東日本大震災で被害を受けた学生に対する特例措置として、審査の上、学生納付金等の減免を行っています。平成23年度には、大学と短大を合わせて5名、24年度は4名、25年度は5名、26年度は5名の学生が減免を受けています。

震災ボランティアに参加して

私が最初に参加した東日本大震災の支援ボランティアは、植草学園の活動として、宮城県南三陸町での瓦礫の撤去です。地震発生から5ヶ月しか経っていない8月のことです。

倒壊した病院の医療器具などを掃除したのですが、私たちは小児病棟を担当し、今まで見たことのない悲惨な状況を目の当たりにしました。つらくて胸が苦しくなっていました。ですが、先輩や先生に明るく勇気づけていただいて乗り切ることができました。その現場

では、言いようのない感情を覚えて、「できることを何か一つからでもしていけないといけない」と強く思いました。そして、この活動を通してさまざまなことを吸収して帰ってきました。

私は、小学生の時からボランティア活動をずっと続けていました。植草学園短大に入学した時も、ボランティアサークルがあると知ってすぐに入りました。「じゅり」いうサークルです。

そのサークルの震災支援ボランティアとしては、福島県から千葉県の施設に避難されていた知的障害児・者の方々に義援物資を届けて、レクリエーションを提供させていただきました。次の年には、千葉県に避難されていた方々が福島県に戻られたので、福島県の施設にボランティアに行きました。施設の周囲はまだ大変な状態でしたが、私たちが企画したレクリエーションを、みなさんに楽しんでいただき、たくさんの笑顔を見ることができました。その笑顔で私たちも元気をもらうことができたと思います。

私はその後、短大から大学に編入してから



高宮 沙希
植草学園大学 発達教育学部
発達支援教育学科
長野県塩尻志学館高等学校出身

も、サークルで障害児施設や特別支援学校地域のお祭りなどのボランティア活動を続けました。福島県の避難施設にも毎年ボランティアに行きました。避難施設の方々は、私の顔を覚えていて、前年の思い出を話したり、私たちの活動を誉めてくださいました。この活動を続けてきて本当に良かったと思います。

この4年間、ボランティア活動を通して、たくさんのことを学ばせていただいた大勢の方に感謝しなければなりません。特に、サークルの顧問であり、短大時のゼミの先生でもある松原先生には親身に相談に乗っていただきました。お礼をいくら言っても足りません。松原先生のおかげで有意義な活動ができ、多くを学んで今の私があると思っています。



友だちに恵まれた学生生活

高校の卒業式があった2日後に、東日本大震災に襲われました。私の家は福島県にありますが、地震が起きてから揺れが収まるまでの時間が長くて、本当に恐かったことを覚えています。家が壊れるようなことはなかったのですが、断水は長く続きました。

すぐに、家族全員で埼玉県の親戚の家に避難することになりました。植草学園大学へ入学してから住むアパートは、地震の起こる一週間前くらいに決まっていたのですが、避難生活の中で引越しの準備は、なかなか進みませんでした。両親にいったん福島へ戻ってもらったりしながら準備をして、引越しができたのは3月末になってからです。

不安だったのは、入学後の自己紹介でした。原発事故に関する放射線への根拠のない思い込みや偏見のため、福島県の中小学生が避難先の学校でいじめを受けているというニュースを見て気になり、福島県出身だと言いつらかったからです。しかし、その不安はすぐに消えました。入学前のガイダンスで早くも友人ができて、一緒にボランティアサークルを



作ることになりました。それを母に報告するとすぐ喜んでくれました。大学に進学できたのも両親のおかげです。両親や家族の支えがあったから今の自分がいると思います。

私の学生生活は、サークルで病院へボランティアに行つて患者さんと交流したり、一緒に学園祭に参加できたこともあって、とても充実していました。ボランティアに行つた後には、交流した患者さんからメールで「今日は本当にありがとう」という言葉をいただいたりしました。本当にこのサークル活動をして良かったと思います。

植草学園では、障害について深く学べたことが一番の成果だと思っています。障害について一方面的な見かたではなく、多方面から考えることができるようになりました。本当に貴重な学びだったと思います。ご指導いただいた先生方には感謝の気持ちでいっぱいです。

この4月からは民間学童保育の仕事に就くことになっています。子どもたちの放課後を、保護者の方が迎えに来るまで、外遊びや中遊びをしながら見守る仕事です。私が今まで教育実習などで見てきた子どもたちは、楽しい時に表情がキラキラと輝きます。そういった子どもたちの輝きを大切にしながら一所懸命に仕事をしていきたいと思っています。



斉藤 史希
植草学園大学 発達教育学部
発達支援教育学科
福島県私立東日本国際大学附属
昌平高等学校出身

震災から4年間の思い

斉藤 史希さんのお母様より



斉藤 道子様

「お母さん、今日、大学の入学前ガイダンスで友だちができたよ！」と、報告の電話があった時の、我が子の弾んだ嬉しそうな声を今でも鮮明に覚えています。

入学式の日には、帰りに、その友だちの家に伺わせていただいて、夕食をご馳走になり「とてもおいしかった」との電話がありました。メールで送られてきた入学式の写真からは、彼らが期待で胸を膨らませている様子が即座に伝わってきました。それを見て私がどれほど安堵したことでしょうか。あれから早くも4年の月日が過ぎようとしています。

我が家は福島県いわき市にあります。太平洋に面した沿岸部で「浜通り」と呼ばれている地域です。山と川と海の豊かな自然に恵まれ、夜空には満天の星が輝きを放ち、温泉も観光地もたくさんあります。映画『フラガール』で脚光をあびたハワイアンズがある街です。

植草学園大学との出会いは、茨城県水戸市で開かれた大学説明会に参加した時。「将来、教育に携わる仕事がしたい」との本人の希望から植草学園大学の説明を聞くことになりました。そこで、資格取得やボランティア活動、サークル活動、アルバイト等のことを丁寧に教えていただき、親子で校風に魅力を感じて、受験に臨み合格させていただきました。

そして、高校の卒業式を終えて新生活の準備をしている時に、あの東日本大震災に襲われました。一瞬にして目の前に悲惨な光景が広がりました。津波で老若男女を問わず尊い生命が犠牲になってしまいました。停電に断水、そして数分おきに余震が襲ってきました。原発事故も起きてしまいました。

しなければならない状況でした。私たち一家は、埼玉県の私の兄の家へ一時避難することになりました。

その避難中に、史希が大学に入学して一人暮らしを始めるための準備を進めなければなりません。いわき市の我が家へ戻り、すでに準備を済ませていた家具などを、史希の暮らす千葉のアパートへ届けることができたのは、ガソリンが入手できるようになった4月中旬のことでした。

私たちの生活は、安心して暮らせる環境にはなかなか戻らず、断水は続き、大きな余震で裏山の土砂崩れに襲われる恐怖も体験しました。何度も心が折れそうになりました。無我夢中の日々でした。

ようやく私たちの生活が落ち着いた地震から1年半後の秋、私は主人と一緒に植草学園大学の学園祭に行きました。そこで、模擬店やステージで学生たちがいきいきと楽しんでいる姿を見て「この大学で我が子は自分らしくエンジョイしている！」と感じ、改めて植草学園大学へ入学できたことに感謝しました。

良き先生と友人は財産です。いよいよ夢に向かって新しい一歩が始まりますが、学舎で得た大切な宝を礎にして新たな自分史を綴って欲しいと願っております。4年間、大変お世話になりました。ありがとうございました。

植草共生の森

キャンパスの東部にある面積2万㎡を超える広大な森が植草共生の森です。「里山の再生」をテーマに学生も主体的に参加して整備を進めています。豊かな自然に囲まれた森の中の散策路を一度歩かれてみてはいかがでしょうか。

「植草共生の森」とは？

「植草共生の森」は、本学園小倉キャンパスの東側にある森（自然林）です。この森は、用地取得以来長く手つかずの状態です。コナラ、クヌギ、イヌシダなどの雑木林や杉林があり、また、真竹、東笹等が繁茂し、人の侵入を阻んでいる状態でした。

森の一部には、かつて湿地帯だったところもあり、雨量によっては水路となり、隣接する池に繋がっています。池にはカワセミが生息し、野鳥も飛来しています。平成22年頃に、地域の特定非営利法人「ちばサイエンスの会」(理科教員による会)によって行われた調査では、貴重な昆虫、両生類、野草などが生息していることもわかりました。

かねてより、植草和典理事長は、この森を学生の教育・実習活動の場とし

横田先生をお招きしての第1回説明会



まずは草刈りから整備作業を進めます

て利用するとともに、地域の子どもの学習や地域住民の多世代交流の場とする構想を抱いていました。子どもから高齢者や障害のある人もない人も利用できる森を整備し、大学と地域を結ぶ森とする構想です。

すなわち、かつての日本では当然のこととして行われてきた里山の整備を、学生を中心に教職員や地域住民が協働で行いながら、生物多様性の大切さを学び、里山整備の知恵を体験できる貴重な「学習の場」とする構想です。さらに、来訪者を交えた学生の教育・実習(体験思考型環境教育、ボランティア教育、セラピー教育、幼児教育、介護教育、リハビリ教育等)活動の場とすることです。

里山の再生をテーマに整備を進める

この構想の実現に向かって、平成24年度には千葉県環境学習アドバイザーで学校ピオトープの維持・管理活動を務めている横田耕明氏(二級建築士)の指導を得て、森全体の整備計画を策定しました。

そして、水辺ピオトープの造営に着手するとともに、横田先生を講師としてお招きし、学生と教職員への説明会を平成24年8月9日に開催しました。ピオトープ(BIOTOP)とは、BIO(生命)とTOP(場所)の2語のギリシャ語からの造語で、人間と自然の関係を考える社会的観点から、野生生物の生息環境を保護する「人と自然とが共生する場所」です。説明会では、この環境作りと里山の整備の重要性等について学びました。また、既存のピオトープ(千葉市立稲毛第二小学校・ライオン(株)キヤンパを見学しました。そして、学生ボランティアと教職員



小川に赤土を張る大事な作業です



力を合わせて柵田を作ります



散策路の木道もみんなで作りました

「植草共生の森」ピオトープ祭「開催

1月24日(土)、学生と教職員の手造りによる水辺ピオトープエリアが披露できる状態になったのを記念して、オーブンセシモノ「植草共生の森ピオトープ祭」を実施しました。

当日は、近隣の幼稚園、保育園、小学校や高齢者介護施設、障害者施設、植草学園大学附属弁天・美浜の両幼稚園、植草弁天保育園等から400人以上の参加が得られました。

はじめに、植草和典理事長から、植草共生の森の整備にあたっての趣旨説明と挨拶が行われました。続いて、植草共生の森の整備に指導・助言をいただいている横田先生と、千葉市若葉区役所の三浦修地域振興課地域づくり支援室長にご挨拶をいただき、「植草共生

の森」の散策が行われました。イベントとして会場では、餅つき、焼きいも作り、バームクーヘン作りの体験と試食を行いました。餅つきと焼きいも作りは、学生と教職員と附属弁天幼稚園教職員が中心に、バームクーヘン作りは、横田先生と同行のみなまが中心になって、学生と教職員も参加して実施しました。この作業には、子どもたちも参加して、記念写真を撮ったり試食をして大盛況でした。

今後、「植草共生の森」は、危険箇所等の整備を行った後に公開する予定です。水辺ピオトープエリアは、ホテルの生息するピオトープをめざして、環境作りと整備を行います。また、柵田の整備も行い、お米作りを実施する予定です。



森の落ち葉を利用して焼き芋作り



バームクーヘンもおいしく焼きあがりました



森について説明を聞きながら散策しました



入り口から植草共生の森の散策をスタート



ピオトープ祭で挨拶に立つ植草和典理事長

植草共生の森 散策マップ



【麗峰祭】

10月3日から4日にかけて麗峰祭を開催しました。

今年は学園創立110年にあたるため、「絆を深める110周年、百花繚乱くみんなで彩る麗峰祭」というテーマを掲げました。110周年の花文字を華道部が制作したり、歴代の本校の学校紹介用ポスターを展示したりして、麗峰祭を盛り上げました。

華道部、美術部、書道同好会は生徒が時間をかけて制作した作品を展示しました。クラス単位で参加した団体は、迷路やお化け屋敷など楽しい催し物から、ピザやワッフルなどおいしい食品販売まで、いろいろなものに取り組みました。記念館においては、バントトワリング部、吹奏楽部、演劇部が日頃の練習の成果を発表しました。さらに、今年はダンス同好会の初披露も加わり、終日賑わっていました。110周年という区切りの年に、これまでの成果を発表できました。

なお、麗峰祭終了後の生徒アンケート結果をもとに、麗峰賞はバントトワリング部(展示・発表部門)と、うどん販売を行ったソフトテニス部の「うどん！」(エンターテインメント部門)に贈られました。



麗峰賞を受賞したバントトワリング部

【卒業生】

11月4日に東京・ラフォーレミュージアム六本木で開催された2015ミス・インターナショナル日本代表選出大会にて本校卒業生中川愛理沙さんが優勝し、日本代表に決定しました。多忙の中を母校に優勝の報告に来て、「2015年11月に行われる世界大会に出場し、次は世界一をめざします」と意気込みを聞かせてくれました。

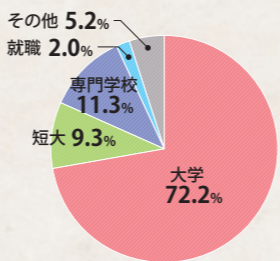


2015ミス・インターナショナル世界大会 日本代表 中川 愛理沙さん(平成26年3月卒業)

先輩おめでとうございます!

【平成26年度進路状況】

植草学園大学 発達教育学部.....21名
植草学園短期大学.....6名



附属高校として植草学園大学や短大への進学はもとより、今年は立教大学、法政大学への進学者を出すことができました。

4年制大学には過去最高の72.2%という高い進学実績(全国平均は47%)を残しました。

【国際理解教育】

平成26年度 英検合格状況

Table with 2 columns: Level and Number of students. 2級: 35名, 準2級: 88名

学園創立110周年の

麗峰祭は大変な賑わい。

卒業生もうれしい大活躍!

植草学園大学 附属高等学校

より

【国際理解教育】

◎2年 修学旅行

英語科・普通科ともに2月2日から6日まで、アメリカのロサンゼルスへ修学旅行に行きました。出発直前はインフルエンザが流行し心配しましたが、当日はみんな元気に空港に集合することができました。約10時間のフライト中は期待に胸が膨らんでいました。



Yorba Linda High School での交流会

現地到着後はファーマーズマーケットやハリウッドハイランドを見学しました。テレビで見たことのある風景を自分の目で見ることで感動しました。

2日目は一番思い出に残った現地の高校との交流会でした。

パティは同じ年代とは思えないほど大人びていて緊張しましたが、一緒に授業を受けたり昼食を食べたりするうちに打ち解けることができました。交流会では浴衣の着付けや茶道など日本文化を紹介しました。特に一生懸命練習したダンスは盛り上がり喜んでもらえました。たった1日の交流でしたがパティとの別れは寂しく感じました。今回の縁を大切に、これからもメールのやりとりをしていきたいと思っています。

3日目、4日目のディズニーランドやクラス別行動もとても楽しかったです。さまざまな場面で外国人の方々とも笑顔で英会話ができることがうれしかったです。

英語科の2泊のホームステイでは、訪問校であるYorba Linda High Schoolの地域の家庭が温かく私たちを迎えてくれました。英語で生活することの楽しさを改めて知る良い機会となりました。

初めての海外を大切な仲間と過ごせた体験は、私たちにとって貴重な宝物となりました。(植草学園大学附属高等学校2年出版委員)

*修学旅行事前研修として12月16日に外部講師を招き、異文化理解・異文化受容・グローバルコミュニケーションに関する参加型講習会を初めて実施しました。

泣いていた子」「上靴のまま外へ出て遊んでいた子」「あのねあのね...」と目いっぱい涙をためて我慢していた子どもたちでした。「どんなふうに成長していくのかな」「元気でやさしい子に育ってほしい」と、新しい子どもたちとの出会いに胸を躍らせました。

素直で純粋な年少組、まっすぐな瞳で担任を見つめ、担任を心のよりどころとし園生活が始まります。園生活に慣れ、友だちとの遊びが楽しくなると少しずつトラブルが発生します。先生たちは、子どもたちの気持ちをくみ取って相手に伝えたり、時には見守ったりしながら、生活や遊びがスムーズになるよう手助けをします。こうして園生活のルールや友だちづきあいを学んでいきます。

年中組の子どもたちのことを私たちは「揺れるお年頃」と呼んでいます。年少時代は単に「好き・嫌い」「良い・悪い」と両極端だった気持ちが、その真ん中に「どうしたらいいんだろう?」「どっち何だろ?」と、どっさりいいのかわからないモヤモヤした気持ちが出て来るようです。「どっさり揺れる気持ちや経験が感性を豊かにしていく」と、ある先生がおっしゃっていました。大切な時期の子どもたちに先生たちは心を寄せ、一緒に悩んだり考えたりしていきます。

年長組は園生活のルールも身につけ、友だち関係も深まり、自分たちで生活を進めていくようになりま。自分の気持ちや考えを相手に伝えようと頑張りが足りずトラブルになることもありま。伝えるだけでなく「相手に



お別れ会のお礼にカレーを作りみんなにごちそう



お別れ会「ほし組さんありがとう」



植草学園大学 附属弁天幼稚園

「4月から中学生になります」小学校の卒業式の帰り道、幼稚園に寄ってくれた卒園児たち

一緒に悩み考えながら 成長していく園児たちとの思い出が宝物です。

受け入れること」も理解できるよう先生たちが子どもたちと一緒に考えたり話し合ったりしています。そして、その子なりに着実に成長していきます。卒園の日、修了証書を手にする子どもたちの姿はとても誇らしげです。数年後、大きくなった卒園生たちが遊びに来てくれます。立派に成長した卒園生の姿を見ることができると、その時々にとくさんの思い出が宝物になります。

【美】

浜幼稚園から2km圏内には幼稚園・保育園、それぞれ10園を超える数があり、乳幼児の保育施設は充実しています。今、少子化が問題となっていますが、千葉市美浜区でも例外ではなく、園児の数も年々減少し、幼児教育を取り巻く環境は変化しています。本園も現状を見直し、優れている点は継続し、時代のニーズに合う新たな取り組みなどを積極的に推し進めていこうと考えています。

本園の良い点を挙げると、園児の数は減っているのですが、学年や年齢での交流活動、遊びの時間が設けられ実施されています。また、一人ひとりの園児を理解し、きめ細かな保育が展開できています。園バスがなく送迎の際、担任や教職員が保護者と毎日顔を合わせ、会話ができるなどの利点があります。保護者同士の交流も進み、保護者と教職員との協力・連携関係が築けており、園児の保育にとって好ましい環境となっています。さらに園庭や保育室が広く、遊びの道具や材料が充実しており、伸び伸び遊ぶことができる豊かな生活環境が用意されています。教職員の年齢構成・経験年数のバランスはよく、年間を見通した保育計画、内容の充実も図られ、継続され磨かれてきた保育実績があります。このような保育環境の中で、園児はいろいろな経験をして学び、目を見張る成長を遂げています。今年度は、園児個々の心に向き合う個の教育を意識して、心身ともに健やかで、豊かな心情をもつ園児の育成を図り、保育の質を高めようと思えます。また、保護者と子育てに関する話し合いの場を設けたり、親子が絵本



年長児発表会の一コマ(合奏)



年少児発表会の一コマ



平成26年度 卒園式 卒園児の歌

個々の心に向き合い 健やかで豊かな心情をもつ 園児を育成していきたい。

植草学園大学 附属美浜幼稚園

より



年中児発表会の一コマ

はじめての集団生活

0歳児6名・1歳児3名の新入園児を迎え、新年度が始まりました。この時期の毎年の光景なのですが、大好きなお母さんとお父さんから離れて、初めての集団生活に不安でいっぱいの子どもたちは、泣いて泣いて泣いて、その不安な思いを表します。しかし、その不安な気持ちを保育者がしっかり受け止めていくことによって、保育園には自分をつと見てくれる人がいる、と分かります。そうすると、保育園という環境に対する安心感と、保育者への信頼感が生まれてきます。入園して1ヶ月くらいでは、まだまだ不安感を拭き去ることができませんが、担当の保育者に笑顔で話しかけられたり、自分の思いを受け止めてもらったりしていくうちに、安心感へと変わり、笑顔で元気いっぱい動き回る姿が見られてきています。



「なかよし電車で」



「なんだ、なんだ」

心の育ちを支える

今、青少年のいたましい事件が途絶えることがなく、悲しみと怒りで胸がはりさける思いです。このような事件を耳にすると、乳幼児期の「環境(育ち)」はどうだったのかと考えてしまいます。「心の育ちを支える」事に視点を置き、子どもと関わる親と保育者は、こ

大切にされている実感が、人を大切にできる気持ちをはぐくみます。

植草弁天保育園より



「なんだか涙がでてきちゃう」



はじける笑顔「ワッハッハ」



先生のお口にも「あーん」

植草学園事務局より

植草学園では学園敷地内での全面禁煙と、学園周辺での喫煙禁止を呼びかけています。これは、第一に教育上の配慮、第二に健康管理の問題、第三に防災上の安全確保を目的とするものです。

また、全教職員・全学生の禁煙と、たばこの煙のない社会の実現めざして、緑祭祭における「植草学園禁煙宣言」の配布や、学生に対する「喫煙に関するアンケート調査」などの啓発活動を展開しています。さらに、学園の門口周辺で職員による吸い殻の清掃活動も実施し、美化に努めるとともに、禁煙意識の向上を図っています。



校内に設置されている禁煙を呼びかけるのぼり



職員による吸い殻の清掃活動

禁煙宣言！ たばこの煙のない社会の実現を植草学園はめざします。

植草学園禁煙宣言

喫煙は、喫煙者をはじめ、非喫煙者にとっても人が吸ったたばこの煙から受動喫煙の危険があり、たばこが健康に悪影響を与えることは明らかであります。

植草学園では、平成15年の健康増進法の施行を機に、学園の教職員、学生、生徒、園児の健康を守るため、学園敷地内での喫煙を全面的に禁止しています。

青少年の喫煙行動は、彼らの健康を阻害するのみでなく、教育上のさまざまな問題を生む要因ともなっています。植草学園は教育機関として、青少年をたばこの害から守るために禁煙運動、禁煙教育をさらに推し進めていきます。

植草学園は「たばこの煙のない社会」「きれいな空気が保証された社会」「たばこにより、青少年の健全育成が育かれない社会」…このような「スモーク・フリー社会」の実現に向け、その活動に積極的に取り組んでいくことを宣言します。

<具体的な活動>

- 植草学園敷地内全面禁煙とします。
- 近隣住民へ迷惑のかからないよう、学園の敷地外周辺においても喫煙しないことを呼びかけます。
- 植草学園に所属する全教職員、全学生の禁煙をめざします。
- 学園の各学校・園の学生、生徒、園児の発達段階に応じた禁煙教育を実施し、禁煙運動を推進する人材を養成します。
- 『スモーク・フリー社会』(たばこの煙のない社会)の実現に向けて、その意義を強調し、学内外で啓発活動を行います。
- 自治体や学外の諸団体と連携し、禁煙活動や受動喫煙防止に取り組めます。

平成25年11月1日
学校法人植草学園

「研究はやめられない」

保健医療学部で主に「生理学」を受けもっています。生理学とはわれわれの生命がどのように維持されているかを知る学問です。研究テーマは「呼吸の神経性調節」と「脳における痛みの情報処理」についてです。ラットやマウスなどの動物を使って実験を行っています。工夫を重ねて新しい発見が得られる感覚が、研究の醍醐味といえます。ここまでの研究は楽しいものですが、その後の研究結果を世に出す仕事(実験の繰り返しによる再現性の確認、データ整理、論文の執筆、投稿、査読に対する返答など)は非常に苦痛です。したがって、最終的に論文が受理された時の達成感は何倍かです。最近では、ネットで自分の論文のダウンロード数や引用数を見ることができ、これも研究の励みになっています。真理が分かっていた時の感激だけでなく、困難や苦痛を乗り越えて得られる達成感のためにも研究を続けています。

人生も同じように失敗や苦難があり、それを克服して達成感や幸福感が得られると思っています。学生時代は特に失敗が許される時期です。恐れずに、さまざまなことにチャレンジしてください。それが有意義な学生生活になり、その経験が将来の大きな糧となることでしょう。脳の基礎的研究あるいは私の研究に興味がある方は遊びに来てください。研究の話を楽しみましょう。



—実験室にて—

植草学園大学 保健医療学部
理学療法学科 教授

桑名 俊一



「産業界ニーズに対応した教育改革・充実体制整備事業」連携会議にて

植草学園短期大学 福祉学科
地域介護福祉専攻 准教授

今井 訓子

「地域とともにある介護をしたい」

介護ってなんででしょう。生きることと生活することは同じでしょうか。こんな疑問を抱いて介護の世界に入り、10年以上過ぎました。その中で、大きな災害も経験しました。学生たちと一緒に地域の行事に参加して、楽しい時間を過ごしたこともあります。命を救うのが医療なら生活を支えるのが介護だとすると、介護には多くの人の関わりが不可欠です。介護職は、地域や社会に入っていくかなくてはならないと思っています。「地域で暮らしている方がそこで暮らし続けられるように、専門的な知識や技術を活用したいと思っています。もしも、その人にとって介護施設を利用する選択が望ましいなら、その生活を支えていきたいと思っています。」これは施設で働く卒業生が言ったことばです。専門職とはこういうことだと思えました。この卒業生はもうすぐパパになりま。奥様も介護福祉士として働いています。介護職を続けながら頑張ってください育てをしていけるように応援したいと思います。

もう一つ考えてきた事は、パーソン・センタード・ケアです。介護を受ける人が中心になるケアで、介護する人も無理をしないという考えです。これからは介護職が必要とされる時代です。地域の中でどんなケアが望まれているのか、どんな方法があるのかを一緒に考えていきたいと思います。

「子どもと音楽を楽しめる保育者をめざして」

担当している授業は、音楽系の科目、保育内容(表現)、キャリアガイダンスなどです。保育の中で音楽が果たしている役割は大きいと考えています。言葉を十分に理解できない乳幼児でも音・音楽に興味をもち、音楽を聞くことから動きだしたりします。友だちと音楽活動を楽しむ中で、自由に自己表現したり他者を受け入れたり、ルールを大切に思う気持ちがはぐくまれます。このような音楽の力を使って、子どもの感じ方や考え方を大切にしながら、楽しく動ける保育者になってほしいと願っています。そのためには、ある程度のピアノの技術が必要です。本学に入学してくるほとんどの人がピアノ学習未経験者です。「保育の表現技術(音楽表現)」の授業では、子どもの発達を考えながら、各自のレベルに見合った歌や音楽を使って、いくつかの課題を発表しあう中で保育実践力を養っています。

ゼミでは、大学祭(緑祭)の時に学生が主体となっていく音楽会を開催しています。保育者になるにあたって大切なことは、まずは社会常識をもち自律的に動けることです。また、今やるべき課題に真剣に取り組んだり、心を動かすような出来事に出会ったり、さまざまな年代の人との関わりをたくさん経験してほしいと思っています。



—ゼミ生と—

植草学園短期大学 福祉学科
児童障害福祉専攻 准教授

黒田 静江

◎植草学園教育研究振興資金の実績報告◎

平成26年度中は「植草学園教育研究振興資金」に多額の寄付をいただき、誠にありがとうございました。

この寄付にあたっては、寄付者の意志が反映できるよう用途を指定できます。

実績報告(平成26年度)

寄付件数 延べ192件 寄付額 5,125,600円

平成25年度にみなさまからいただいた寄付金は、平成26年度において、各校事業に下記のとおり充当させていただきました。

寄付金の指定用途	平成25年度寄付金額	平成26年度事業
大学・短期大学の環境整備	655,000円	M棟ピアノ練習室ピアノ5台購入費用(174万円)に全額充当しました。
附属高校の環境整備	100,000円	図書室検索用ノートパソコン4台(59万円)に全額充当しました。
学生・生徒奨学金	340,000円	家計急変学生2名の奨学金、東日本大震災被災学生5名の授業料等減免費(492万円)に全額充当しました。
用途指定なし	32,413,000円	大学高校スカラシップ生の授業料等減免費(908万円)および小倉キャンパスA棟空調設備改修工事費(3,650万円)に全額充当しました。

◎植草学園教育研究振興資金 寄付者ご芳名簿 (平成26年10月1日～平成27年3月31日) 順不同 敬称略

稲岡 智子 若松 和子 先崎 晋一 高橋 芳久 北條 洋子 岩梨 利代子 四ノ宮 晟 小出 ヒサ子
小川 文枝 鏡味 勝 安藤 好江 大坂 智 植草学園大学・植草学園短期大学後援会 植草学園さくら会

多くのみなさまのご協力とご厚志に心よりお礼申し上げます。引き続き、教育研究振興資金へのご芳志をお寄せいただきたくお願い申し上げます。

漢字の今昔

植草学園大学 学長 浦野 俊則

第十四回

【即・既・郷】



この器は、古代中国で料理したごちそうを盛りつけ、祖先をお祭りする祭壇に供えるために使いました。

「即」(ソク)字の左偏は、このような器に料理を山盛りにした形です。右には、この器に向かって、坐っている人が書いてあります。「即座」「即席」というのは、本来、このように座席に即(つ)いてこれから食べるという意味の語です。発展して、「今すぐに」という意味に用いるようになりました。

「既」(キ)字は、料理を盛った器に向かう人の頭部が後ろ向きに書いてあります。これで、食べ終わったことを表しています。したがって、「既」字は、「終わる」とか「すでに」の意味に使います。

「郷」(キョウ)字は、料理を盛った器を中に置いて、二人が向かいあって坐って食べる形を表しています。甲骨文や金文では祖

先にごちそうを供え、祖先とともに食べる(饗餐)意味で使われています。この意味では、のちに、饗食、饗宴のように「饗」字を使うようになりました。

いっぽう、向かい合う意味で「嚮」字が使われましたが、簡略な「向」字を使うことが多くなりました。

また、饗宴の儀礼にあずかる地位の人を「卿」(ケイ)と言いました。卿大夫、公卿の語は、この流れを汲んでいます。字形は、のちに郷字と卿字とに分かれました。郷字を郷村、故郷の意味に使うのは、ずっと後世のことです。

即				
既				
郷				
卿				

※最新情報発信中!

www.uekusa.ac.jp

検索

ゼミ紹介 & 授業紹介

授業紹介

「自閉症教育総論」
発達教育学部 特別支援教育専門科目

2~4年次後期



准教授 植草学園大学 発達教育学部 発達支援教育学科 加藤 悦子

初回の授業で「自閉症のある人」について、ここが良いと思う点と、ここが生きにくいのではと思う点を聞きます。自閉症のある人を支援するには、自分たちが当たり前と感じていることが、いかに当たり前でない世界であるのかについて、感覚的に理解することが大切だと考えます。自閉症のある人の特性について、知識として理解するだけでは支援をすることができないからです。そして、自閉症のある人の良いところを生かして支援していくことが支援の鍵となるからです。

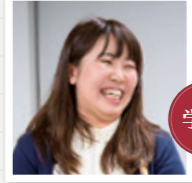
幼稚園・保育所・小学校・特別支援学校、どのクラスにも、自閉症や、それに近い特性がある子どもがいます。実習を終えた4年生は、自閉症のある人の生きにくさと魅力を実感的に分かっています。学童保育、障害のある子どもたちの施設等でのボランティア経験がある3年生も同様です。2年生は、自閉症のある人との関わりの経験が少なく、文字の上だけの理解では良い支援者になることが望めません。

そこで、2~4年生を5~6名のグループに分け

て、授業を進めています。上級生は、自分のことばで語るために、自分の経験の意味を捉え直す良い機会です。下級生は、これから自閉症のある子どもたちと関わるにあたり、上級生の語りから疑似経験もできることとなります。何より、特別な支援を要する子どもには、チームで智慧を出し合うことが大切ですから、自分の考えを伝えみんなで考え合うことの大事さを体験します。



授業は、自閉症の青年、輝明さんの物語「僕の歩く道」(草薙 剛さん主演テレビドラマ:2006年放送)の映像を題材に、場面ごとのテーマに基づき、コミュニケーションの困難さ、感覚の特性、パニックへの対応など、自分はどうのように感じ、解決しようとするか、輝明さんはどうして困ったのか、支援者はどうすれば良いか、輝明さんはどんなことを身に付けておけば良かったかを、まず自分で考え、グループで考え、全員で確認し合うという流れで進めます。自閉症のある人の困難さを想像し、支援を創造できる柔軟さをもち、支援の醍醐味を大切に、共に生きる支援者になって欲しいと願っています。



学生 発達教育学部 発達支援教育学科 4年 藤本 美穂 千葉県私立明聖高等学校出身

加藤先生の授業「自閉症教育総論」では、主に自閉症の人が過ごしやすい環境の作り方や、支援の仕方を学びます。自閉症の人がテーマになっているドラマをワンシーンずつ観ながら、「どうしてパニックを起こしてしまったのか」、「その人自身が、どんな力を身に付けていれば乗り切れたのか」、「どのような支援が必要なのか」等を考え、グループで話し合い発表します。映像を観ながら考えることで問題点が一つだけではないことも読み取ることが出来ます。グループで授業を受けるため、実習を終えた人や、ボランティアの経験がある人、または接した経験がない人がおり、さまざまな角度からの意見を聞くことが出来ます。そのため、この授業を受けることで支援をするときの選択肢を増やすことができ、その人にあった支援をすることができるようになります。加藤先生は、チャーバくん好きなお茶目な方です。笑顔が素敵であたたかく、私にとって第二の母のような存在です。そんなやさしい先生だからこそできる支援方法を学べる授業です。

授業紹介

「理学療法英文講読」
保健医療学部 理学療法科目

2年次・3年次後期



准教授 植草学園大学 保健医療学部 理学療法学科 荒金 房子

植草学園大学で教鞭をとるようになって7年が過ぎ去りました。本学では、保健医療学部、発達教育学部の1年生を対象に、英語Ⅰ、英語Ⅱ、英語表現などを教えています。

また、保健医療学部の2年生の学生を対象に理学療法英文講読という科目を教えています。この講義の目標は、1. 理学療法学に関する英語の専門用語を理解し、表現する力を身に付ける 2. 目的とする英語文献を検索する力を身に付ける 3. 英語文献の内容を理解し、批判的、客観的に読解する力を身に付けるの3点です。

講義は後期に、90分×15回の授業が行われます。15回の前半では、まず、骨折などの理学療法関連の英文を読んで訳します。次に、2名1組になって病気に対処する運動療法の簡単な英文を訳し、内容をインターネット等で調べてもらいます。さらに、運動療法室で、各組ごとに、数行程度の簡単な英文を暗唱して、動作を実際に行ってもらい、ネットで調査したことに基づいて、動作がその

症状の改善にどのように作用するかについて説明してもらいます。たとえば、大腿骨頸部骨折であれば、上肢と健側下肢の筋力増強運動の運動療法について自分で調べ、発表してもらいわけです。座学だけではなく、実際に動作をするので、学生は楽しんで参加しています。15回の後半では、英語の論文の読み方や探し方について学び、2名1組のグループに分かれて、好きな論文を探して訳し、クラスで発表します。



この講義では、単に英語を学ぶだけでなく、前半の授業では、1,2年の医療関連の講義で学んだ理学療法関連の内容をおさらいしつつ、深めていくことができます。後半では、3年生から各教員のゼミで始まる卒業研究のための英語文献の探し方、読み方を学ぶことができます。選択科目なので受講するかどうかは自由ですが、この講義には、毎年、15名前後の学生が受講しています。内容はかなり専門的なのですが、必ずしも英語が好き・

得意ではない学生も多く参加しています。私自身も、英語教員で医療の専門家ではないので、学生が選ぶ論文の内容をともに学ぶことができるので大変勉強になっています。受験生のみならず、植草学園大学と一緒に理学療法についての英語を学んでみませんか?



学生 保健医療学部 理学療法学科 3年 井戸 亨 東京都立芦花高等学校出身

荒金先生の講義「理学療法英文講読」は、理学療法に関する英語表現の基礎を学び、英語文献の探し方と文献読解を目的とする科目です。実習レポートや卒業研究に必要な文献を探すのに役立つのでとても重要です。

英文読解において、文献は自分で探すので自分に合ったレベルで進められます。そのため負担にならずに授業を受ける事ができ、授業の後半は自分の読解した文章を荒金先生に見ただけなのでさらに理解が深まります。荒金先生の解説はとても丁寧でいつも笑顔の絶えない明るい時間が過ごせます。

また、文献を読み解くうちに自然と英語で医療の専門用語が覚えられますので、他の授業でもノートをとる時にとても役に立っています。

平成28年度入試日程

試験区分【募集人員】		出願手続期間		試験日	選考結果通知	入学手続期間	選考方法	
発達教育学部 発達支援教育学科 植草学園大学	AO入試 [30名]	1期	H27/ 8/25 火 ~ 9/ 1 火	9/ 5 土	9/ 8 火	9/ 8 火 ~ 9/15 火	面接(15分程度)・書類審査・課題小論文 * 出願前にオープンキャンパス、入試説明会、個別相談会(学園祭)で事前説明・相談を受けてください	
		2期	H27/10/ 6 火 ~ 10/13 火	10/17 土	10/20 火	10/20 火 ~ 10/27 火		
		3期	H27/12/ 1 火 ~ 12/ 8 火	12/12 土	12/15 火	12/15 火 ~ 12/22 火		
		4期	H28/ 2/ 5 金 ~ 3/11 金	相談のうえ決定	試験日2日後	選考結果通知日から1週間		
	推薦入試 [50名]	指定校制 公募制	H27/10/30 金 ~ 11/ 6 金	11/11 水	11/13 金	11/13 金 ~ 11/20 金	面接(15分程度)・書類審査・課題小論文 * 事前説明・相談不要 指定校制:面接(10分) 公 募 制:面接(10分)・基礎学力試験(国語-古文・漢文を除く) 評定平均値3.0以上の者	
	植草学園大学附属高等学校 特別選抜試験 [20名]		H27/ 8/25 火 ~ 9/ 1 火	9/ 4 金	9/ 8 火	9/ 8 火 ~ 9/15 火	面接(10分)・書類審査	
	一般入試 [25名]	A 日程	H28/ 1/18 月 ~ 1/29 金	2/ 3 水	2/ 5 金	2/ 5 金 ~ 2/12 金	国語(古文・漢文を除く)、英語(コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ)から1教科・面接(10分) *ただし、英検2級以上の有資格者は、英語の試験を免除し、面接のみとする	
		B 日程	H28/ 2/22 月 ~ 3/ 4 金	3/10 水	3/12 土	3/12 土 ~ 3/18 金		
	大学入試センター試験 利用入試 [10名]	A 日程	H28/ 1/ 5 火 ~ 1/15 金	大学入試 センター試験日	2/ 8 月	2/ 8 月 ~ 2/16 火	[新課程] 国語(近代以降の文章)必須+「地歴・公民・数学・理科・外国語」から1科目 * 理科の基礎を付した科目は、2科目を1科目分として扱う * 英語はリスニングなし * 本学における個別試験は課さない	
		B 日程	H28/ 2/22 月 ~ 3/ 4 金		3/12 土	3/12 土 ~ 3/18 金		
保健医療学部 理学療法学科 植草学園短期大学	AO入試 [8名]	1期	H27/ 8/25 火 ~ 9/ 1 火	9/ 5 土	9/ 8 火	9/ 8 火 ~ 9/15 火	面接(15分程度)・基礎学力試験(小論文)・書類審査 * 出願前にオープンキャンパス、入試説明会で事前説明・相談を受けてください	
		2期	H27/10/ 6 火 ~ 10/13 火	10/17 土	10/20 火	10/20 火 ~ 10/27 火		
	推薦入試 [6名]	指定校制 公募制	H27/10/30 金 ~ 11/ 6 金	11/11 水	11/13 金	11/13 金 ~ 11/20 金	指定校制:面接(10分) 公 募 制:面接(10分)・基礎学力試験(小論文) 評定平均値3.3以上の者	
	植草学園大学附属高等学校 特別選抜試験 [若干名]		H27/ 8/25 火 ~ 9/ 1 火	9/ 4 金	9/ 8 火	9/ 8 火 ~ 9/15 火	面接(10分)・書類審査	
	一般入試 [18名]	A 日程	H28/ 1/18 月 ~ 1/29 金	2/ 3 水	2/ 5 金	2/ 5 金 ~ 2/12 金	国語(古文・漢文を除く)、英語(コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ)、数学(数学Ⅰ・数学A)、理科(生物基礎)から2教科・面接(10分)	
		B 日程	H28/ 2/22 月 ~ 3/ 4 金	3/10 水	3/12 土	3/12 土 ~ 3/18 金		
	大学入試センター試験 利用入試 [7名]	A 日程	H28/ 1/ 5 火 ~ 1/15 金	大学入試 センター試験日	2/ 8 月	2/ 8 月 ~ 2/16 火	[新課程] 国語(近代以降の文章)、数学・理科・外国語(英、独、仏)から2教科・2科目 * 理科の基礎を付した科目は、2科目を1科目分として扱う * 英語はリスニングなし * 本学における個別試験は課さない	
		B 日程	H28/ 2/22 月 ~ 3/ 4 金		3/12 土	3/12 土 ~ 3/18 金		
	福祉学科 地域介護福祉専攻 植草学園短期大学	AO入試 [12名]	1期	H27/ 8/25 火 ~ 9/ 1 火	9/ 5 土	9/ 8 火	9/ 8 火 ~ 9/15 火	面接(15分程度)・書類審査・課題小論文 * 出願前にオープンキャンパス、入試説明会、個別相談会(学園祭)で事前説明・相談を受けてください
			2期	H27/10/ 6 火 ~ 10/13 火	10/17 土	10/20 火	10/20 火 ~ 10/27 火	
3期			H27/12/ 1 火 ~ 12/ 8 火	12/12 土	12/15 火	12/15 火 ~ 12/22 火		
4期			H28/ 1/ 5 火 ~ 3/11 金	相談のうえ決定	試験日2日後	選考結果通知日から1週間		
推薦入試 [12名]		指定校制 公募制	H27/10/30 金 ~ 11/ 6 金	11/11 水	11/13 金	11/13 金 ~ 11/20 金	指定校制:面接(10分) 公 募 制:面接(10分)・書類審査	
植草学園大学附属高等学校 特別選抜試験 [4名]			H27/ 8/25 火 ~ 9/ 1 火	9/ 4 金	9/ 8 火	9/ 8 火 ~ 9/15 火	面接(10分)・書類審査	
一般入試 [10名]		A 日程	H28/ 1/18 月 ~ 1/29 金	2/ 3 水	2/ 5 金	2/ 5 金 ~ 2/12 金	面接(10分)・国語(古文・漢文を除く)	
		B 日程	H28/ 2/22 月 ~ 3/ 4 金	3/10 水	3/12 土	3/12 土 ~ 3/18 金		
AO入試 [30名]		1期	H27/ 8/25 火 ~ 9/ 1 火	9/ 5 土	9/ 8 火	9/ 8 火 ~ 9/15 火	面接(15分程度)・書類審査・課題小論文 * 出願前にオープンキャンパス、入試説明会、個別相談会(学園祭)で事前説明・相談を受けてください	
		2期	H27/10/ 6 火 ~ 10/13 火	10/17 土	10/20 火	10/20 火 ~ 10/27 火		
	3期	H27/12/ 1 火 ~ 12/ 8 火	12/12 土	12/15 火	12/15 火 ~ 12/22 火			
推薦入試 [40名]	指定校制 公募制	H27/10/30 金 ~ 11/ 6 金	11/11 水	11/13 金	11/13 金 ~ 11/20 金	指定校制:面接(10分) 公 募 制:面接(10分)・書類審査		
植草学園大学附属高等学校 特別選抜試験 [7名]		H27/ 8/25 火 ~ 9/ 1 火	9/ 4 金	9/ 8 火	9/ 8 火 ~ 9/15 火	面接(10分)・書類審査		
一般入試 [20名]	A 日程	H28/ 1/18 月 ~ 1/29 金	2/ 3 水	2/ 5 金	2/ 5 金 ~ 2/12 金	面接(10分)・国語(古文・漢文を除く)		
	B 日程	H28/ 2/22 月 ~ 3/ 4 金	3/10 水	3/12 土	3/12 土 ~ 3/18 金			

※上記以外に社会人、帰国生徒、外国人留学生特別選抜試験を実施します。



◎オープンキャンパス & 保護者対象説明会 10:00~14:00

5.17日 6.6日 6.28日 7.18日 7.26日 8.22日

◎入試説明会 10:00~12:00 ◎個別相談会(学園祭同時開催) 10:00~14:00 ◎春のオープンキャンパス&保護者説明会 10:00~12:00

9.27日 10.24日 11.14日 11.15日 3.26日

無料送迎バス運行 *各日、9:40にJR都賀駅東口臨時バス乗り場より、大学行き無料送迎バスを運行します。
*11/14(土)・11/15(日)のバス運行時刻は、ホームページをご確認ください。

2015

UEKUSA OPEN CAMPUS

障害と支援の学びが未来をつくる。

植草学園大学/植草学園短期大学

〒264-0007 千葉県若葉区小倉町1639番3 Tel.043-233-9031(代) Fax.043-233-9088

◎入試・広報課 Tel.043-239-2600 Fax.043-214-5001 URL.http://www.uekusa.ac.jp

平日 9:00~17:00 土曜日 9:00~12:00

詳しくは

植草学園

検索

webサイトへ!

